

いらごさららパークについて

愛知県環境部自然環境課

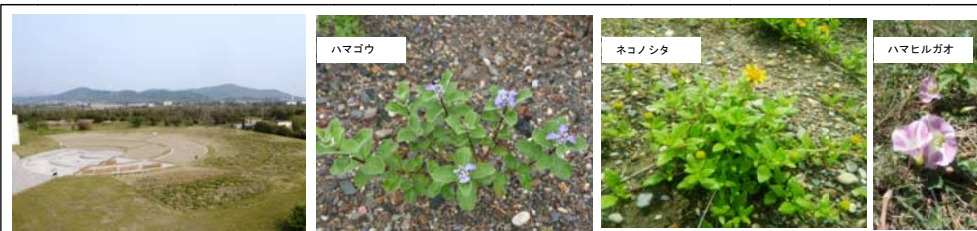
1. 平成27年度 伊良湖休暇村公園整備事業（愛称：いらごさららパーク）について

昨年度は、①橋の架け替え、②水鳥が観察できる園路整備、③希少種エリアの整備、④湿地整備（天地返し）を行い、平成28年4月に、希少種エリアの展示を開始しました。



2. 現在のいらごさららパーク

平成26年度・27年度に観光エリアの花の広場に植栽が完了し、海浜性植物の花が咲きました。春・夏にはハマヒルガオ、ハマゴウ、ネコノシタなど、秋にはイソギク、ツワブキがきれいな花を咲かせます。これから夏にかけて見頃を迎えます。



*本事業は、渥美半島先端に位置する伊良湖休暇村公園において、老朽化したプール施設を撤去し、三河湾国定公園内の自然公園にふさわしい施設として、平成25年度から平成29年度までの5年間で、全国初となる砂丘とオアシス（湧水）の再生をテーマとした整備を行うものです。整備により、砂丘や海浜性植物など、渥美半島にかつて存在した原風景を再生・保全し、この地域における生態系ネットワークの拠点とするとともに、観光客が多く訪れる魅力的な観光施設とし、自然環境保全に対する要素と観光拠点としての機能をバランスよく持ち合わせた施設を目指しています。園地を観光エリア、希少種エリア、環境活動エリアの3つのエリアに分けて整備を進めていますが、平成26年10月24日に観光エリアの一部を供用開始しました。

参考資料5

3. 主な取組

(1) アウトドアフェスタの開催（平成27年9月27日）

愛知県と休暇村伊良湖の共催で、「アウトドアフェスタ」を開催し、約800人の方にお越しいただきました。

愛知県主催のイベントとしては、砂の彫刻を作る「サンドアート体験」、現地で見られる植物を紹介する「絵合わせパズルゲーム」等を行い、多くの来園者に、供用開始から約1年となった「いらごさららパーク」の魅力をPRいたしました。



(2) 全国都市緑化あいちフェアのサテライト会場

（平成27年9月12日～11月8日）

愛・地球博記念公園（長久手市）で「第32回全国都市緑化あいちフェア」が開催され、いらごさららパークは54箇所あるサテライト会場の一つとなり、スタンプラリーの会場にもなりました。

期間中に、いらごさららパークには約7,300人の方にお越しいただきました。



(3) NPO法人東三河自然観察会による自然観察会の開催

（平成28年5月4日）

「NPO法人東三河自然観察会」による自然観察会のフィールドとして、会員24名のほか、一般参加者26名が参加し、園内の動植物を観察しました。



(4) 特定外来種「オオキンケイギク」の駆除活動の実施（平成28年5月25日）

豊橋技術科学大学の学生の皆様をはじめとする41人の地元の方々にご参加いただき、外来生物に関する学習会と駆除作業を行いました。

<オオキンケイギク>

- ・北アメリカ原産のキク科の多年草であり、観賞用や緑化用として明治時代に日本に持ち込まれた。
- ・河川敷等の草地で繁殖し群落を作るため、生態系に大きな影響を与える。
- ・外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。



4. 今後の予定

平成28年度は、引き続き希少種エリアの整備、園路整備等を行います。

いらごさららパークを利用したイベントも、昨年度に引き続き行っていきます。

<お問い合わせ先>

愛知県環境部自然環境課 調整・施設・自然公園グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話：052-954-6227、ファックス：052-963-3526

Eメール：shizen@pref.aichi.lg.jp

*事業の詳細はウェブページをご覧ください。

「あいちの環境 自然環境課」で検索 もしくは、

<http://www.pref.aichi.jp/kankvo/sizen-ka/shizen/irago/irago.html>

